



デンタル小町が通る

根本京子②

ねもと歯科クリニック院長



今夜は風が強いなあ。何も起こらなければいいけれど……。つい心配になってしまふには訳がある。その夜は瞬間最大風速が11・2桁を記録するほどの強風が吹き荒れたのだ。

そして、夜が明けるとなんと、「実朝暗殺の大イチョウ倒

れる」というショッキングなニュースが飛び込んできた。

大イチョウとは、鎌倉幕府の三代将軍・源実朝を暗殺しようとして、甥の公暁が隠れたという伝承で知られる鶴岡八幡宮の樹齢1千年以上の老木。

鶴岡八幡宮は、子供たちの初節句や七五三などの時に必

大イチョウ『回復は不可能』。

連日の報道を、祈るような気持ちで見守っていた。ああ、もうだめかな。内心、諦めかけていた2日後に、なんと「大イチョウクローン技術で『再生』に挑戦 命の継続へ移植着手」というニュース。

大イチョウから切り取った

ある。

ここでつい私は、我々が扱う歯と重ねて考えてしまふ。もし、どの歯も同じように高確率で移植に成功し、クローン技術で「幼歯」が再生できたら……。患者さんのピンチに各方面の技術者が知恵を出し合い、最高の治療をすぐに提供できたら……。

再生への挑戦と芽吹き

近い将来、それが当たり前になる時代がくるだろうか。

ず訪れた我が家にとっても馴染み深い場所で、とりわけ娘は学校が隣にあるので毎日その前を通っている。娘のクラスメートの中には、今までそこにあった巨木が根元から折れ、横たわる痛ましい姿を見て、愕然と立ちつくし、泣きじやくる子もいたという。

『古都の象徴 倒れ』残念』

枝で挿し木を作り、移植に挑戦するというのだ。しかもそれだけではなく、地中に残った根から出る茎(ひこげえ)の育成と、挿し木等による増殖の三通りで進めるという。

そうすると、90%の確率で根付くらしい。すごい。感動したのはその技術もさることな

がら、内容と対応の速さにて

2カ月たった今、大イチョウは大勢の祈りに応えるように、地面に残った根元の他、隣に移植された幹からも、新たな芽が育ち始めている。

ちょうど、根元から生える幼木を、隣で親の幹が見守るような姿になって。